

膝前部痛（ anterior knee pain syndrome AKPS）

・膝前部痛（AKPS）とは？

膝蓋骨周辺の痛みを主訴として来院する若者（スポーツ学生が多い）の中に、膝蓋骨周囲の圧痛と膝蓋骨の圧迫徴候のみで他覚的初見がほとんどなく、レントゲンでも特記すべき初検がない患者さんが多数います。このような原因不明の疼痛を、膝前部痛 anterior knee pain と呼んでいます。

・好発する年齢は？

小学生～高校生に非常に多く見られます。

若田接骨院ではどうやって評価しているの？

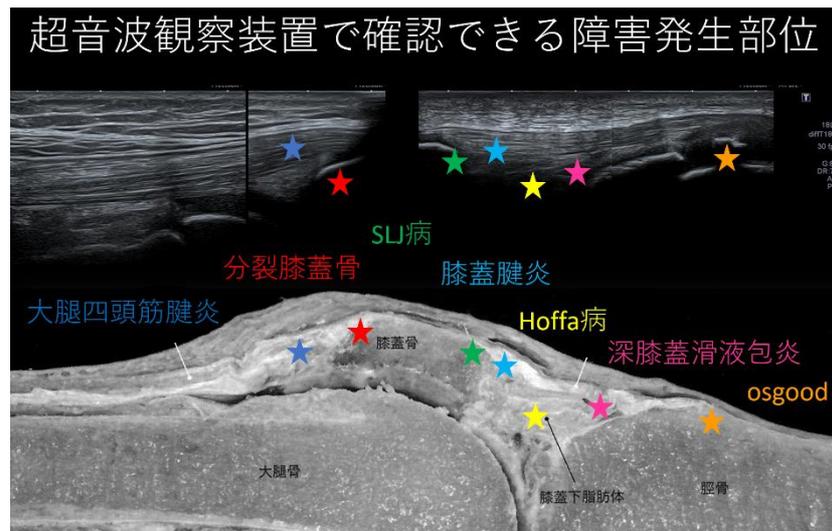
若田接骨院では超音波観察装置（Xario 200 | [超音波観察装置](#) | キヤノンメディカルシステムズ）を用いて詳細に患部を観察しております。細かな組織変化も見逃すことはありません。レントゲンは骨しか写し出しませんが、超音波観察装置では生体内すべての組織を映し出します。超音波観察を行い、どの組織が発痛しているかを明確にすることが大切です。



超音波観察でどこまでわかるの？

Osgood、深膝蓋滑液包炎、Hoffa 病、膝蓋靭帯炎、SLJ 病、分裂膝蓋骨、大腿四頭筋炎などを評価することができます。

若田接骨院では患者さんが訴える膝痛を真摯に受け止め正確に評価しております。



どうやって治療するの？

原因が明確になれば治療方針も立てることができます。

発痛している組織に対して鎮痛効果のある物理療法を行い、運動時に患部に負担を与えている筋肉の柔軟性を向上させるための治療を行います。さらに必要であれば間違った運動習慣を改善させるためにトレーニングも提供します。

これらにより痛みは徐々に軽減し、早期に運動復帰することが可能になります。



学生の膝前部痛（AKPS）はスポーツを専門にしている医療機関・接骨院でしか判断できません。若田接骨院では AKPS の病態を詳細に把握して治療しております。ぜひお困りの方は当院にご来院くださいませ。